

曙ブレーキグループ 会社案内



総合ブレーキメーカーとしての理念、私たちはそこから未来に続く第一歩を踏み出します。

社是『誠和魂』

「以誠接人」「以和計事」「以魂貫志」

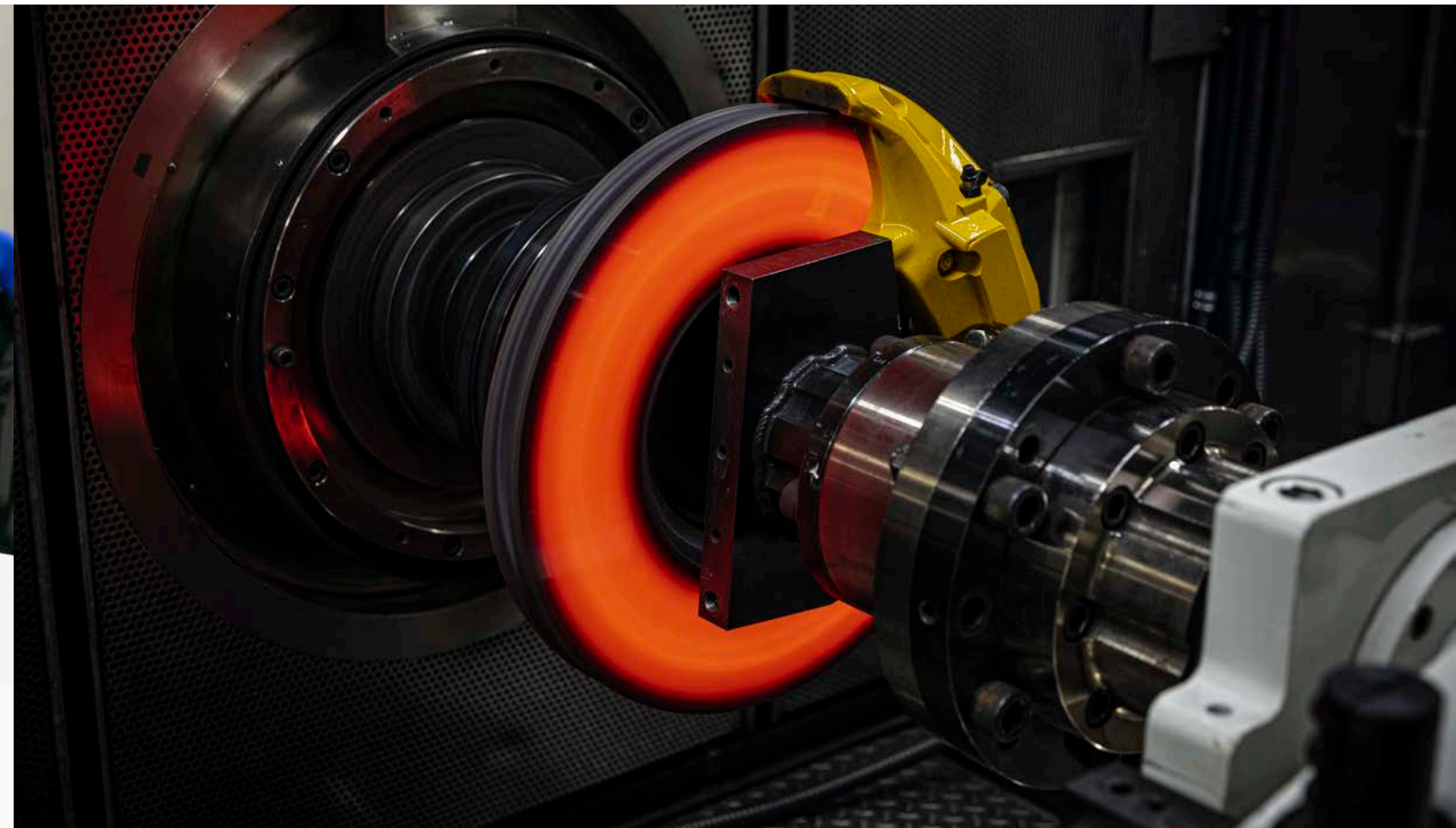
(誠をもって人に接し 和をもって事を計り 魂をもって志を貫く)

誠実に人と接すること、人との和をもって物事を進めること、魂をもって志したことをやり遂げる
こと。その大切さを説いたこの社是は、1964年に制定され、同年には現在も続く社内報「誠和魂」
(せいわこん)も創刊されました。これにより、社是は今も社員に広く浸透しています。

理念『曙の理念』

私達は、「摩擦と振動、その制御と解析」により、
ひとつひとつのいのちを守り、育み、支え続けて行きます。

akebonoは、グループ全体の求心となる理念のもと、akebonoが進むべき道を示すことが重要と考え、1999年に『曙の理念』を制定しました。
「摩擦と振動、その制御と解析」は、akebonoのコア技術です。「制御」が「解析」の前にあるのは、解析する前に、まず、困っているお客様の問題解決に取り
組む、そして、その解析も怠らないというakebonoの姿勢を表しています。
守っているのは人のいのちではありません。「ひとつひとつのいのち」には、人間だけでなく、草木に至るまで、地球上のあらゆる生物、引いては地球
環境そのものもいのちのひとつとみなし、それらを守り、育み続けていくために、健全な経営のもとで企業価値を創出していくことを定めています。
私たちは、「曙の理念」を実現することで、持続可能な社会の発展に貢献していきます。



お客様のご要望にお応えするために、私たちは開発から製造まで最善を追求し続けています。



akebonoは「お客様ニーズ」と「社会ニーズ」に応えています。

akebonoは独立系ブレーキ専門メーカーとして、世界中のお客様に安全と安心を提供しています。コンパクトカー向けからハイパフォーマンスカー向けまで、さまざまなカテゴリーの製品を開発・製造。多様な分野への展開とともに、次世代技術の開発に注力することで、安全・安心な社会づくりに寄与していきます。



200km/hを超える高速走行から急ブレーキをかけ、ブレーキの性能を評価・検証

開発・実験設備

高性能ダイナモメーターの導入により、過酷な条件下での走行をシミュレーションすることが可能となりました。ダイナモでは、速度のみならず、温度や風速などの走行環境を変えることができ、お客様の様々な要求に応える環境を再現することができます。回転しているローターにかかるブレーキパッドの面圧を解析することも可能となり、ブレーキパッドの偏摩耗を防ぐなど、ブレーキの制動力に直結する解析技術の向上に大きく貢献しています。

独立系総合ブレーキメーカーakebonoのラインナップ

akebonoは総合ブレーキメーカーとして、ディスクブレーキパッドやドラムブレーキライニングなどの摩擦材、ディスクブレーキ、ドラムブレーキなどの機構部品を開発、製造しています。

自動車用製品



高性能量販車用
6ポットブレーキキャリパー



高性能量販車用
10ポットブレーキキャリパー



高性能車用
10ポットブレーキキャリパー



乗用車用
フローティングタイプ
ディスクブレーキ



オボースドタイプ
ディスクブレーキ



商用車用
フローティングタイプ
ディスクブレーキ



耐久レース用
ブレーキキャリパー



耐久レース用
ブレーキキャリパー



乗用車用
ドラムブレーキ



商用車用
ドラムブレーキ



ディスクブレーキパッド

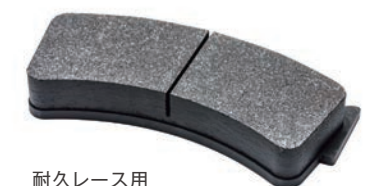
ドラムブレーキ
ライニング



高性能量販車用
6ポットブレーキパッド



高性能量販車用
10ポットブレーキパッド



耐久レース用
ブレーキパッド

独立系総合ブレーキメーカーakebonoのラインナップ

akebonoは、自動二輪車、鉄道車両、産業機械など、幅広い分野のブレーキ製品を製造しています。
さらに、ブレーキの振動解析技術を活かしたセンサー製品も開発・製造しています。

自動二輪車用製品



自動二輪車用
ブレーキキャリパー



自動二輪車用
マスターシリンダー

鉄道車両用製品



新幹線用
ディスクブレーキ

新幹線用等面圧
ディスクブレーキライニング



在来線用ディスクブレーキ
ライニング



鉄道車両用制輪子



地下鉄用
ディスクブレーキライニング

産業機械用製品



フォークリフト用
ドラムブレーキ



カーエアコン用
クラッチフェーシング



ラフテレーンクレーン用
ディスクブレーキ



エレベーター用ブレーキシュー

補修品

ブレーキパッド
(アフターマーケット製品)



センサー製品

センサー
クラスター

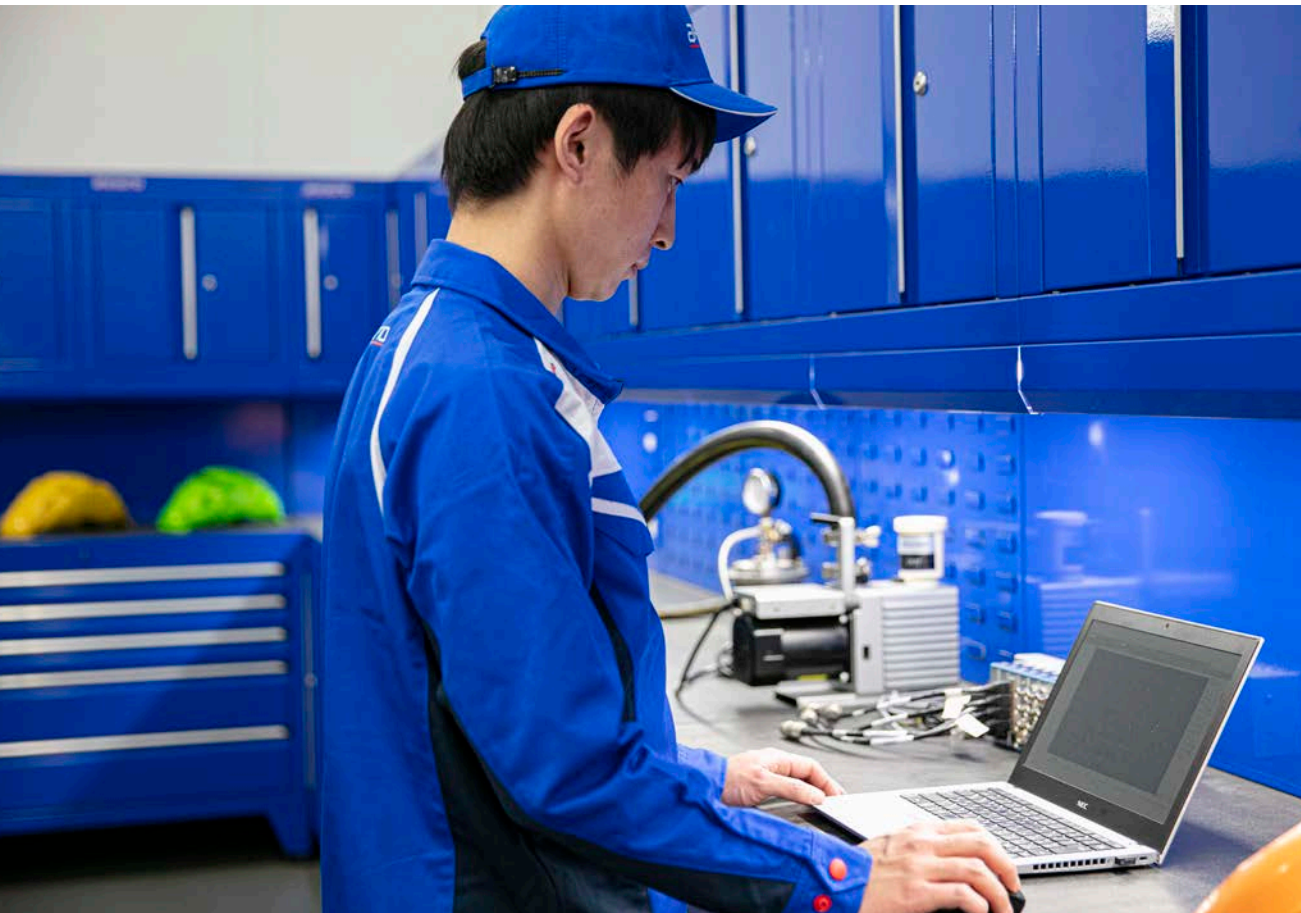


車両挙動監視装置
(鉄道車両用)



脱線検知装置
(鉄道車両用)





求められることの、さらにその先へ向かう。チャレンジすることこそが私たちの提案です。



理想を実現するために、さらに過酷なフィールドを求めて。

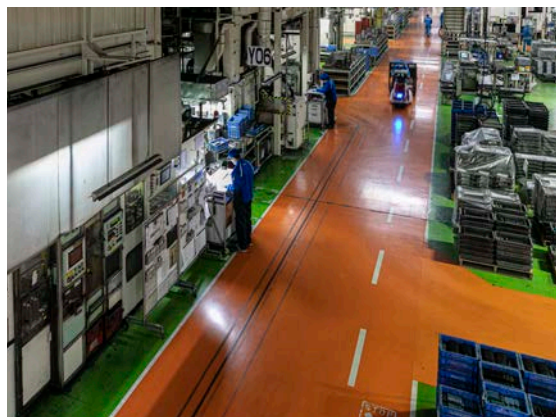
akebonoはブレーキのエキスパートを目指し、2002年にモータースポーツへの挑戦をスタートさせました。2007年にはF1へのブレーキ供給も開始。F1をはじめとしたモータースポーツへの挑戦は、akebonoの技術力向上とエンジニアの育成に大きく寄与してきました。F1への挑戦が高性能車向けブレーキの開発や採用にもつながり、市販の量産車の技術レベル向上にもつながっています。

常に根底に流れるチャレンジ精神とともに次世代へ。

加速する自動車の電動化や自動運転化に対応すべく、電動ブレーキの開発に注力しています。akebonoは、1つのモーター出力を2つのピストンに伝達できる独自構造の中・小型トラック用電動パーキングブレーキを開発しました。また、高性能車用ブレーキの開発で培ってきた技術を活かして、スポーツタイプの電気自動車用にオボーズタイプ電動パーキングブレーキキャリパーも開発し、量産を開始しました。



生産に関わるすべてのシーンに、さらに向上するきっかけがあると私たちは考えています。



安全と品質を担保し生産性を向上させ
「原価低減」「人財育成」へ。

akebonoは、各生産拠点で「S (Safety: 安全)」「Q (Quality: 品質)」「D (Delivery: 納期)」「C (Cost: コスト)」「E (Environment: 環境)」を向上させる活動に取り組んできました。この活動は「安全と品質を確保しながら、納期厳守や原価低減を実現し、人財育成につなげる」という考え方を基本としています。今後は「全社SQDCE活動」として、akebono全体の競争力向上に向けて、全社で活動を推進していきます。



真摯に向き合い本質的な解決を目指す
「5ゲン主義」。

2019年に発足した新体制の下、akebonoは、5ゲン主義（現地 現物 現認 原理 原則）の実践を目指しています。何か問題があれば「現地」「現物」「現認」で確認し、問題を解決しなければならない。問題と真摯に向き合い本質的な解決を目指す。次に何が起こるか予測するために「原理」を追及する。社員一人ひとりが「原則」をしっかり守って行動する。akebonoは、全ての業務において5ゲン主義を実践していきます。



さらなる品質の向上や次世代への積極的な対応など、私たちは常にその先を目指していきます。



環境負荷低減に向けた 積極的な取り組みを実施。

akebonoでは、2016年より摩耗粉測定技術に取り組み始め、摩耗粉をほぼ全て捕集する技術、摩耗粉の量、粒子の大きさの分布測定技術の開発を完了しています。2020年には日本自動車技術会規格 (JASO) によって行われた測定技術の標準化活動を先導しました。今後も、この技術を活用した摩擦材開発を進め、環境負荷低減に積極的に取り組んでいきます。



企業としての社会的責任に 正面から取り組む。

akebonoは、次世代製品開発として、製造過程でのCO₂発生量を従来比で50%削減できるブレーキパッドを開発しました。製造時間を50%以下に短縮し、さらには、ブレーキを作動させたときに発生するブレーキ摩耗粉の量も低減できるブレーキパッドです。今後は製品化に向けさらなる取り組みを進めていきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

取り組みの詳細に関しては、こちらをご確認ください。

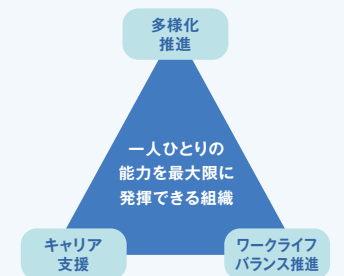
人事制度	社員の状況	健康経営
WEB	WEB	WEB

人事基本方針

「会社を成功に導く最も重要なファクターは『人財（社員）』である」という考えのもと、「社員一人ひとりに機会を提供し、会社の成功を共に分かち合える社員を支え続けていくこと」を基本方針として、「個の確立」と「相互の尊敬と信頼」を基盤に、グローバルでの長期人事政策の構築を目指しています。

ダイバーシティ・マネジメント

akebonoのダイバーシティ・マネジメントは、『多様化推進』、『キャリア支援』、『ワークライフバランス推進』を3つの基本テーマとして、社員一人ひとりの能力を最大限に発揮できる組織づくりを行い、新たな価値創造と企業価値の向上に結びつけることを目標にしています。



会社が一人ひとりを支える。一人ひとりが会社を支える。モノづくりは人づくりです。



女性活躍推進「えるぼし認定」を取得

akebonoは女性を含むすべての社員がいきいきと働ける企業を目指し取り組みを続けており、2016年には、「えるぼし認定※（3段階目）」を受けました。えるぼし認定制度は、女性活躍推進法に基づいて行動計画の策定と策定内容の届出を行った事業主のうち、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況などが優良な事業主が、都道府県労働局への申請により、厚生労働大臣の認定を受けることができる制度です。

※女性活躍推進法に基づく「基準適合一般事業主」認定の公式愛称



次世代育成支援認定マーク「くるみん」3回目の取得

akebonoは、2016年に埼玉労働局から「次世代育成支援対策推進法」に基づく「子育てサポート企業」として認定を受け、次世代育成支援認定マーク「くるみん」マークを取得しました。2007年11月、2013年6月にも認定を受けており、2016年で3回目の「くるみん」マーク取得となります。



健康経営

akebonoは、「働き方改革」「心身両面の健康促進」「健康意識向上」を3本柱に健康経営推進に取り組んでいます。全社一体となった健康づくり活動により、2025年には、「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」の認定を受けました。これは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度で、今回は8年連続8回目の認定となります。



事業所内保育所「あけぼの保育園」(Ai-Kids)

2018年に開園した「あけぼの保育園」は、「働き方改革」の一環及び社員の福利厚生の実、また地域社会への貢献を目的として設立されました。



研修センター「Ai-Village」

研修センター「Ai-Village」は、Ai-City（本社）に2012年に建設されました。グローバル人財の創出を目的として、様々な研修が行われています。現在は、集合研修とオンライン研修の両輪で、研修のさらなる充実を実現しています。



障がい者の雇用（あけぼの123）

akebonoの特例子会社、あけぼの123（株）では、「社員に人として自立してもらう」という理念のもと、障がい者が仕事を通じて成長できる職場づくりに取り組んでいます。障がい者の雇用やその能力を活かした職場づくりを積極的に取り組んでいることが評価され、2007年4月以来「埼玉県障害者雇用優良事業所」として6期連続認証されています。



欧州



高性能ブレーキ

- ① Akebono Europe GmbH
- ② Akebono Brake Slovakia s.r.o.

高性能ブレーキ

北米



ディスクブレーキ ドラムブレーキ ブレーキパッド

- ① Akebono Brake Corporation (北米本社)
- ① Akebono Engineering Center (研究開発)
- ② Akebono Brake Corporation (Elizabethtown)

(北米本社機能、販売、マーケティング)

② Akebono Brake, Elizabethtown Plant

ディスクブレーキ ドラムブレーキ 高性能ブレーキ

③ Akebono Brake, Glasgow Plant

ブレーキパッド

④ Akebono Brake Mexico S.A. de C.V.

ディスクブレーキ ドラムブレーキ

曙ブレーキ工業(株)

- ① 本店(グローバル本社)
- ② Ai-City(本社)
- ③ 中部オフィス
- ④ 札幌営業所
- ⑤ 仙台営業所
- ② 関東営業所
- ① 首都圏営業所
- ⑥ 大阪営業所
- ⑦ 広島営業所
- ⑧ 福岡営業所

⑨ 館林鋳造所

鋳物

② HP製造部

高性能ブレーキ

- ⑩ Ai-Ring (テストコース)
- ② Ai-Village (グローバル研修センター)
- ② Ai-Museum (ブレーキ博物館)



鋳物 高性能ブレーキ

Europe

North America

Akebono Brake Industry Co., Ltd.

Japan

アジア



ディスクブレーキ ドラムブレーキ ブレーキパッド ブレーキライニング 二輪ディスクブレーキ 二輪マスターシリンダー 鋳物

- ① Akebono Brake (Thailand) Co., Ltd.
- ② A&M Casting (Thailand) Co., Ltd.
- ③ Akebono Cooperation (Thailand) Co., Ltd.

ディスクブレーキ ブレーキパッド

鋳物

- ④ 広州曙光制動器有限公司 Akebono Corporation (Guangzhou)
- ⑤ 曙光制動器(蘇州)有限公司 Akebono Corporation (Suzhou)

ディスクブレーキ ドラムブレーキ

ブレーキパッド

⑥ PT. Akebono Brake Astra Indonesia

ディスクブレーキ ドラムブレーキ ブレーキパッド
ブレーキライニング 二輪ディスクブレーキ 二輪マスターシリンダー

⑦ Akebono Brake Astra Vietnam Co., Ltd.

二輪ディスクブレーキ 二輪マスターシリンダー

日本



ディスクブレーキ ドラムブレーキ ブレーキパッド ブレーキライニング 新幹線ディスクブレーキ クラッチフェーシング

- ⑪ 曙ブレーキ 山形製造(株)

ブレーキパッド クラッチフェーシング

⑬ 曙ブレーキ 岩槻製造(株)

ディスクブレーキ 新幹線ディスクブレーキ

⑫ 曙ブレーキ 福島製造(株)

ブレーキライニング クラッチフェーシング

⑭ 曙ブレーキ 山陽製造(株)

ドラムブレーキ ホイールシリンダー

- ⑬ (株)アロックス
- ② あけぼの123(株)(特例子会社)
- ② (株)アケボノキッズケア(保育所)

会社概要

商号	曙ブレーキ工業株式会社
本店（グローバル本社）	〒103-8534 東京都中央区日本橋室町1丁目13番7号 PMO日本橋室町5F 03-5299-7621（代表） MAP
Ai-City（本社）	〒348-8508 埼玉県羽生市東5丁目4番地71号 048-560-1500（大代表） MAP
創業	1929年（昭和4年）1月27日
設立	1936年（昭和11年）1月25日
資本金	199億円（2024年3月末現在）
売上高（連結）	1,663億円（2023年度）
従業員数（連結）	5,548名（2024年3月末現在）

役員一覧

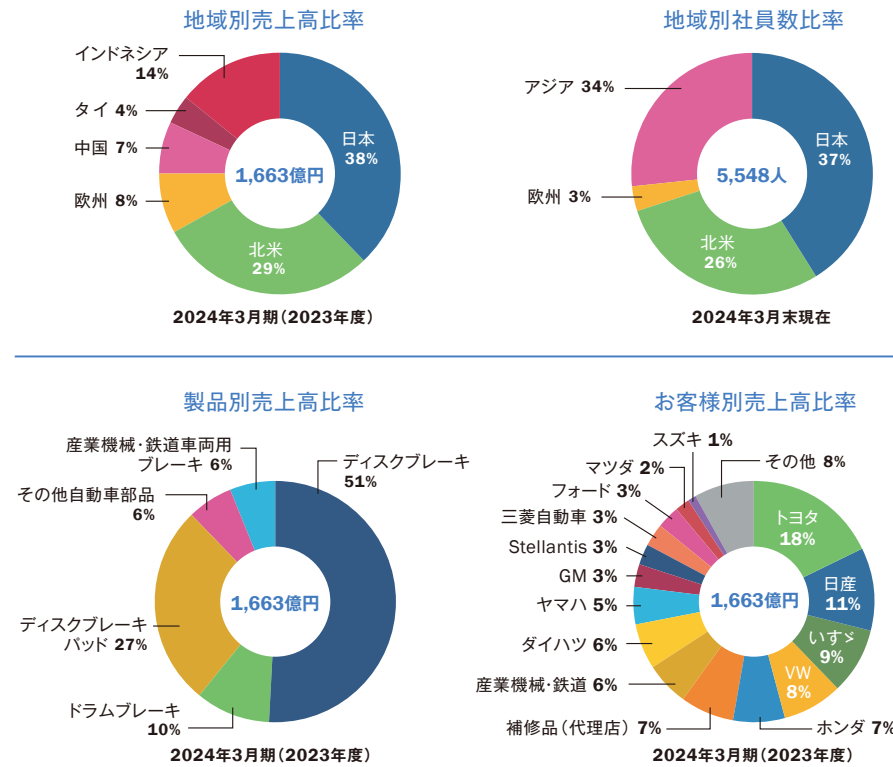
2025年4月1日現在



取締役	代表取締役 長岡 宏	社外取締役 駒形 崇	執行役員	社長 CEO 長岡 宏
	取締役 安藤 昌明	社外取締役（監査等委員） 丹治 宏彰		執行役員 COO 安藤 昌明
		社外取締役（監査等委員） 廣本 裕一		執行役員 西村 誠司
		社外取締役（監査等委員） 三代 洋右		執行役員 渡邊 高夫
		社外取締役（監査等委員） 河本 茂行		執行役員 石田 憲英
				執行役員 前上 亮子

※CEO (Chief Executive Officer)、COO (Chief Operating Officer)

売上高比率・社員数比率



沿革



1929年	曙石綿工業所を創業、 ウーブンブレーキライニング、クラッチフェーシングの製造開始	2001年	本社新社屋「Akebono Crystal Wing (ACW)」竣工
1936年	曙石綿工業（株）を設立	2003年	あけぼの123（株）を設立
1939年	羽生製造所建設、稼働開始	2004年	ドイツ現地法人 Akebono Europe GmbH を設立 ブレーキ博物館「Ai-Museum」完成
1960年	曙ブレーキ工業（株）に改称 米国ベンディックス社とブレーキに関する技術援助契約を締結		中国現地法人 広州曙光制動器有限公司、曙光制動器（蘇州）有限公司を設立
1961年	東京証券取引所市場第二部に上場	2006年	タイ現地法人 Akebono Brake (Thailand) Co., Ltd. を設立
1962年	岩槻製造所建設、稼働開始（現 曙ブレーキ岩槻製造（株））	2007年	F1に新規参戦、マクラーレンチームのオフィシャルサプライヤーになる
1965年	晝田工業（株）、三菱重工業（株）と共同出資で 山陽ブレーキ工業（株）を設立（現 曙ブレーキ山陽製造（株））	2008年	館林製造所稼働開始
1971年	福島製造所建設、稼働開始（現 曙ブレーキ福島製造（株））	2011年	ベトナム現地法人 Akebono Brake Astra Vietnam Co., Ltd. を設立
1979年	岩槻製造所、AD型ディスクブレーキの量産を開始	2012年	メキシコ現地法人 Akebono Brake Mexico S.A. de C.V. を設立
1982年	AD型ディスクブレーキ「昭和56年度日本機械学会賞」受賞	2014年	スロバキア現地法人 Akebono Brake Slovakia s.r.o. を設立 タイに（株）真岡製作所との合併会社 A&M Casting (Thailand) Co., Ltd.を設立
1983年	東京証券取引所市場第一部に上場	2016年	「市販ロードカー用高性能自動車ブレーキの開発と量産化」において 「日本機械学会賞（技術）」を受賞
1986年	米国GM社との合併会社 Ambrake Corporation を設立 （現 Akebono Brake, Elizabethtown Plant）	2018年	（株）アケボノキッズケアを設立し、あけぼの保育園（Ai-Kids）を開園
1988年	テストコース「曙ブレーキ・ブルーピング・グラウンド」完成 （福島県いわき市）（現 Ai-Ring）	2019年	タイ現地法人 Akebono Cooperation (Thailand) Co., Ltd. を設立 事業再生ADR手続申込・受理
1992年	曙ブレーキ山形製造（株）を設立	2022年	東京証券取引所の市場区分の見直しにより市場第一部からプライム市場へ移行 耐久レース用ブレーキキャリパー「NR22」が2022年度グッドデザイン賞を受賞
1994年	米国現地法人 Amak Brake L.L.C. を設立 （現:Akebono Brake, Glasgow Plant）	2024年	「中小型トラック用電動パーキングブレーキのモータギヤユニット開発」において 「日本機械学会賞（技術）」を受賞 事業再生計画期間終了
1996年	インドネシア PT. Tri Dharma Wisesa に資本参加 （現 PT. Akebono Brake Astra Indonesia）		
1998年	米国現地法人 Akebono Corporation (North America) を設立 （現 Akebono Brake Corporation）		